

第1回 東旭川まちづくり推進協議会議事録

日 時： 令和6年5月7日（火）午後6時30分から午後7時25分

場 所： 東旭川公民館 講堂

出席者： 池本委員 石川委員 磯石委員 踊場委員 勝瀬委員 亀上委員 佐藤（翔）委員
佐藤（昌）委員 椎名委員 曾根委員 谷川委員 玉井委員 中村委員 二階堂委員
西山委員 畑山委員 以上はまち協委員16名

社会福祉協議会：堀川氏 児童センター：青塚氏 高村氏

社会教育課：小島主幹 伊藤氏

事務局：樽井部長、羽田野支所長、岡本副支所長、長野主任、河野主任、植松主任、井口主査

1 開 会

2 市民生活部長あいさつ

樽井部長からあいさつがあり、その後今後2年間の委員としてまちづくりに
寄与いただけることに感謝の意が示された。

3 委員及び事務局の紹介

羽田野事務局長から欠席者も含めて紹介した。

4 議題

(1) 会長選出

推薦により磯石委員が会長に選出された

(2) 副会長指名

磯石新会長の指名により西山委員が副会長に選任された

(3) 東旭川まちづくり推進協議会の会議ルール（案）について

資料に基づき説明され承認された

(4) 旭川市地域まちづくり推進事業と補助金・負担金について

ア 令和6年度旭川市地域まちづくり推進事業補助金・負担金の概要

今年度の補助金と負担金について概要が説明された

イ 東旭川地域まちづくり実行委員会の令和5年度実績と令和6年度事業案

昨年度の事業実績についての説明がなされ、引き続き今年度の事業計画（予算額32万円）が説明された。

（質疑）Q：地域情報誌の発行について頻度が低いとのことだが、どういう内容なのか？

また、解決策としてどのようなことを考えているのか？

A：年度末に1回だけ発行するため年度当初に実施した事業の報告については、そんな古い情報を載せても意味がないのでは？などの批判がある。

解決策としては、印刷回数を増やす予算がないので、SNSを活用したい。

発信の頻度は、身の丈に合った数で行きたい。他の業務に無理のない範囲で行う
ことができればよいと思う。

(5) 東旭川地域まちづくりの検討と推進について

ア 東旭川まちづくり推進プログラム

資料に基づき説明された

(質疑) Q: プログラム 2 p の最下段の欄に地域の文化的交流による活性化(全域)があるが、これはどのようなことを想定しているのか? 大変良いことなのでぜひ行うことが良いと思うがどうか? また、この地区在住の外国人を事務局では把握しているのか?

A: プログラムは、最初のまち協立ち上げの時から委員の皆さんのアイデアを積み上げたもの。その中の一つの取り組みなので、委員の皆さんが事業案を提案していただき協議会で採択すればいつでも実施可能。コロナが明けて、旭山動物園に来園する外国人のお客さんが大変増えているようだ。外国人との交流はよいことで今後ますます増えていくと思われる。事務局は在住外国人情報を持ち合わせていない。

(質疑) Q: 1 事業にあさひやまプライドプロジェクトがあるが、このプライドプロジェクトは、英語にすると別の意味を持つ。説明すると、LGBTQ の人たちの居場所という意味になる。

A: ご指摘に感謝する。そうした事実は、知らなかった。命名者に命名の経緯を確認の上改名案を考えたい。

(質疑) Q: (別な委員から) 実は自分も、同様のことを考えて人権侵害の可能性を心配していた。カタカナでもセーフではないと思われるので、できることならば早期に変更すべきと思われるので、そのように取り計らい願いたい。

A: そういうことであれば、早急に対応できるよう取り組みたい。

イ 年間スケジュール

基本は、年に 5 回ほどの協議会(全体会議)を予定。当まち協以外のその他に地域活動推進課で研修会や交流会なども計画されている。都度、ご案内いたします。

5 その他

(1) 謝礼について

協議会の出席回数に応じて謝礼が支払われる。
手続きのための必要書類を案内した。

(2) その他

ア 東旭川まるっとマルシェmini(仮称)の開催時期について

2 年前に開催したマルシェの第 2 弾を 7 月末か 8 月上旬ころまでに行う。

その際は、中央地区市民委員会のふれあい祭りと共催で行う

最有力候補: 8 月 11 日(日)で中央地区市民委員会と調整を行う。

イ その他

第 2 回東旭川まちづくり推進協議会は、6 月中旬から 7 月初旬頃に開催したい。

6 閉 会